

2022年5月31日

**最新鋭大型コンテナ船の建造契約を締結**

〈2022年5月31日、シンガポール〉 - Ocean Network Express Pte. Ltd. は、日本シップヤード株式会社および現代重工業株式会社との間で、13,700 TEU を超える大型コンテナ船をそれぞれ5隻ずつ、計10隻の建造契約を締結しました。2025年に竣工する予定です。

今回の船隊整備は、今年3月に発表した中期戦略に基づいたものであり、必要不可欠なサプライチェーンの維持という顧客の需要に応えるとともに、グリーン戦略と脱炭素化計画を推進していきます。

これら10隻は様々な環境負荷低減技術を導入していることに加え、アンモニアやメタノールなどの環境負荷の低い代替燃料やCCS\*の「レディノーテーション」或いはAIP\*を取得します。

ONEは、グリーン戦略を最重要経営課題と位置付け2050年までにカーボンニュートラルを達成し、より環境に優しい資産及び技術に対して継続的に投資を行い、業界関係者との幅広い協業により海上輸送の脱炭素化を実現することで、海運における脱炭素化のリーダーとして、持続可能な海上輸送の実現をコミットします。

(\* ) CCS (Carbon dioxide Capture and Storage); CO2回収・貯留技術。燃焼排ガスに含まれるCO2を回収し、船上に一時貯留することを想定しています。

(\*\* ) AIP (Approval in Principle); 船級協会が付与する基本設計に対する承認であり、コンセプト設計まで完了したことを示す。



日本シップヤードと当社の調印式



現代重工業と当社の調印式